

淀川左岸線 2期工事 見直しを



計画消防委員会 尾上やすお てらど月美

てらど議員は、総額約1200億円の内、大阪市が今後769億円を負担する「淀川左岸線2期建設工事」の計画に対し、約4kmにわたり淀川の堤防内にトンネル道路をつくる2期事業には、安全性の問題が指摘されており、災害に強い、安心安全の街づくりを進める観点からも見直しを強く求めました。

(尾上議員は委員長のため質疑はありません)

不必要な港湾整備 中止を



建設港湾委員会 こはら孝志

大阪港では5万トンを超える大型船の寄港が年々減少しているのに、総額176億円、2013年度4億8千万円の事業費で、夢洲C12埠頭を250mも延長する計画の中止を求めました。

しかも、水深16mの高規格C12岸壁には、5万トン以上のコンテナ船は、年間3隻(2012年度実績)しか入港しておらず、ムダな公共事業の典型だと指摘しました。



地下鉄民営化では 市民の足守れない

岩崎けんた 交通水道委員会

市営地下鉄の民営化で、大阪商工会議所提言が、「完全民営化・株式上場」を求めていることは、銀行や生命保険、外国資本など大企業が株を持ち、「実質上、地下鉄を売り渡す」と追及しました。

また、地下鉄と市バスの分離、民営化は新たな市民負担を生み、5年間維持という89バス路線も住民の足を守る保障はないと民営化に反対しました。

みなさんの願い実現へ全力 (予算委員会での主な質疑)

思想・ 良心の 自由守れ



財政総務委員会 小川陽太 山中智子

山中議員は「職員の政治的行為の制限に関する条例」について、国家公務員のピラ配布で無罪となった最高裁判決を示し、思想良心の自由、表現の自由を蹂躪するものであり、見直すべきだと指摘しました。

小川議員は、橋下市政が強引、拙速に設置を進めている地域活動協議会について、地域の実情をふまえ、ていねいな支援につとめるよう強く求めました。



市立幼稚園 民営化するな

井上ひろし 文教経済委員会

市立幼稚園の全園を、2015年度から順次、廃止・民営化する計画に対し、「行政責任の放棄」ときびしく批判しました。

「市立を選んで子どもを通わせている」という保護者の声やねがいを紹介し、セーフティネット(安全網)機能など、今まで公立が果たしてきた役割と歴史に自負をもって行政の責任を果たすべきだと強く主張しました。



高すぎる国保料 引下げを

北山良三 民生保健委員会

「国保の値上げ」に反対し、「むしろ引き下げるべきだ」と強く求めました。

「大阪市の国保料はめっちゃくちゃ安い」と答弁する橋下市長に対して、「市長が言う基準での比較で、全国20の政令市中、上から8番目に高く、平均額より4万円も高い。これでどうして安いと言えるのか」と迫り、市長はまともに答弁できませんでした。

議会終了後、市長は「3%値上げを2%値上げに変更する」と表明しました。

橋下市長は教育への介入をやめよ 教育振興基本計画を変更する議案には反対

井上浩議員は、昨年強行された大阪市の「教育行政基本条例」、にもとづく「教育振興基本計画」は、市長が教育に無制限に介入できるようにするもので、桜宮高校の体育科「入試中止」や教職員の総入れ替え要求はその危険性をうきぼりにするものだと指摘しました。

橋下市長の介入が、現場を混乱させ、多くの人を傷つけたときびしく批判。政治権力は教育を支配してはならないという原則に真っ向から反するものだと主張しましたが、教育振興基本計画の変更についての議案は、維新・公明・自民の賛成で可決されました。



閉会本会議で討論する井上議員

住民が行政に参画しやすい仕組みに 「区政会議」の運営にかかわる条例案に反対



閉会本会議で討論する山中議員

山中智子議員は、「区政会議の運営」にかかわる条例案について、市民を自治の主体、街づくりや地域の課題解決の協働の担い手と明確に位置づけることが大切だと指摘。ところが条例案は、住民自治の精神が見当たらず、事細かに政治的行為を制限するなど、市民への不信さえ感じられるものだと批判しました。

条例案は、維新・公明・自民・みらい(民主系)の賛成で可決されました。



市立幼稚園民営化反対など陳情・決議 市民の願いに背を向ける「維新の会」

橋下市長が進める「市政改革プラン」で、全ての市立幼稚園の民営化が強行されようとしている問題で、これを見直すことを求める保護者からの陳情が、共産党をはじめ、維新以外の全ての会派の賛成で採択されました。

「市立大学と府立大学の拙速な統合撤回を求める」陳情も、維新だけが反対して、採択されました。陳情は、統合案が学生にも市民にもほとんど知られておらず、それぞれの大学に歴史や伝統があると訴えています。

「南港ポートタウンにおけるごみ管路輸送に関する決議」は共産党議員団が提案し、協議の結果維新だけの反対で採択されました。